

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 第4回 学校運営協議会 |
| 2 | 日時 | 令和3年12月20日 午後5時45分から午後7時35分まで |
| 3 | 会場 | 浦里小学校 音楽室 |
| 4 | 出席者 | 井澤良夫会長、田村実英副会長、安齋理江委員、橋元宣明委員
堀内重光委員、坂口善行委員、羽賀杏子委員、堀内寛子委員 |
| 5 | 市側出席者 | なし |
| 6 | 公開・非公開等の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 7 | 会議概要作成年月日 | 令和3年12月25日 |

協議事項等

- 1 開 会
- 2 井澤良夫会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 協議

(1) 子どもたちの様子について (運動会・なかよし参観等の児童の様子)

学校長：運動会アンケートからは、1年生から6年生まで自分の出番や自分の係活動でしっかりやっている姿を地域の方々に見ていただけて、子どもたちも満足していた。お家の方々からも褒めの言葉をいただいている。ただ、一部「工夫をしてほしい」「全校種目が少なかつたため寂しさを感じる」「地域、保護者が参加できる場面はほしい」という意見はいただいている。来年度、状況により反映させていただきたい。

なかよし参観等のアンケートからは、先生方に学習問題を意識した授業、友と関わり合う授業にしてほしいということをお願いしてきたが、アンケート結果から先生方が意識して授業をしていることは伝わったのではないかと考えている。この日は、佐久市立野沢中学校の校長先生にPTA講演会でメディアについての講演をしていただいたが、子どもたちや保護者に影響があったと感じている。講演会の後「ゲームをやめた」など、お家の方と子どもたちが相談しながらゲームのやり方について見直す良い機会になった。

(2) 9月2日「校舎を大切にする日」の反省と今後の方向について

学校長：9月2日は子どもたちと職員のみで清掃活動を行った。11月13日に地域、保護者の方々に参加をして清掃活動をした。コカリナの贈呈は12月3日に安齋先生に行っていただいた。来年度は9月5日が月曜日なので、その日にできたらと思っている。

委員：コカリナは黒坂先生のコンサートの収益から出ている。受け継いで来られて有難い。

10年目の校舎を大切にする日では、黒坂先生か旧校舎にゆかりのある方をお呼びできれば有難い。

(3) 今年度の「ふるさと学習発表会」のあり方について

学校長：レベル2以下であれば、例年通りの内容で行いたい。レベル3以上または近隣の状況により形態を変えなければと思っている。2月10日の実施で考えている。

委員：感染レベルによる行事等の対応は市で統一されているのか。

学校長：体育施設を貸し出す際には対応は決められているので、参考にはしている。学校の状況に応じて対応する。

委員：何とか子どもたちがお互いの学年を見て、それぞれのよさを味わい、伝統を受け継ぐことが

第一。お助け隊の方たちも見られればよいが、状況によるのでは。

(4) 来年度のコミュニティ・スクールの方向について

学校長：今年度の学校運営協議会は全6回、8名構成で来年度もよいか。目標は「広めよう、あいさつ運動」「メディアと上手に付き合おう」であったが、学校評価アンケート結果も踏まえて次回の運営協議会で話題にしたい。

委員：「メディアと上手に付き合おう」については、漠然とした目標だと感じる。「メディアとは何か」「上手とは何か」の辺りが漠然としているように感じる。

委員：他の学校のPTAの方に話すと「他校ではやっていない取組なので浦里はすごい」と言われる。

学校長：次回にご意見をいただければと思う。学級懇談会等でも話題にしていきたい。

委員：回数についてはよいと思う。

(5) 学校運営協議会委員の選出について

学校長：規約では任期は1年となっている。来年度も継続していただきたいが、それぞれの事情があると思うので、それぞれのお立場で来年度について検討をお願いしたい。

(6) 150周年記念事業について

教頭：今年度は第4回から第6回の学校運営協議会で実行委員会、組織、推進日程等を検討していくことになっている。また、検討内容をPTA評議員会で諮りながら練り上げていき、来年度のPTA総会で提案できればと考えている。令和4年度は準備の1年となる。本日は、実行委員会のメンバーはどのようなメンバーがよいか、140周年記念の時のメンバーを参考に案を考えたので、ご意見をいただきたい。

委員：提案通り、140周年と同様の組織でよい。

(7) その他

①来年度のお助け隊オクレンジャー代について

教頭：今年度は年度途中からお助け隊の皆様におクレンジャーの導入をお勧めし、半分ぐらいの方に加入していただいた。年度途中ということで、3月までの代金は学校からの補助で行っている。4月からは新たに年間330円の代金が発生してくる。できれば、個人負担は少なくしていきたい。補助金として運用できるものがあるのか教えていただきたい。

委員：存続改築委員会の補助金もあるのでは。

委員：学校からは出せるのか。

教頭：全ては難しい。

校長：コミュニティ委員長に相談してみればよいか。

委員：存続改築委員長に諮ってみたらどうか。

委員：コミュニティ委員長から存続改築委員会に依頼したらよいのでは。存続の予算でできればよい。できるだけ個人負担がない方がよい。

②第2回コミュニティ委員会について

教頭：2月10日に予定している。お助け隊総会も兼ねている。今年度はコロナ禍ということで、1時間程度で行いたい。会場は浦里小学校。内容は、大広間で全体会、その後、各教室に分かれて分散会を行いたい。その後、オンラインで各教室をつなぎ、話題になったことを情報共有したい。コミュニティ委員会で出た意見は、次の週に学校運営協議会が予定されているので、そこで検討できればと考えている。開催判断基準は、レベル2以下で開催、レベル3以上で中止としたい。1月に通知を出す予定である。

③第2回こまゆみ教室（長野大学）について

④こまゆみ教室（木彫）について

教 頭：第2回こまゆみ教室（長野大学）は、12月27日（月）9：30～11：30で行う予定である。前回はオンラインで行ったが、今回は対面で行う予定である。現在、参加者を集約している最中である。

こまゆみ教室（木彫）については、今年度、コロナ禍のため行っていなかったが、ぜひ行ってほしいという声が多数あり、3学期に全6回の予定で行う予定である。昨年度は相談室で行っていたが、密を避けるため広間で行いたい。

委 員：長野大学とのこまゆみ教室は、何人ぐらい希望しているのか。

学校長：20人ぐらい。

⑤来年度検討委員会提案について

教 頭：来年度の行事や日課について校内で検討した内容が資料に記載してある。ご意見があれば、お願いしたい。「ふるさと学習」については、「探究的な学びにしていくために、子どもたちの問いから出発するふるさと学習へ」と考えている。今までは各学年でやることがほぼ決まっていたが、さらに子どもたちから出てきた疑問について、その疑問を解決するために地域の方々に関わっていく学習が展開できればと考えている。

日課については、案1として、朝、ドリルタイムからスタートするという案が挙げられている。1日のスタートを、各教室で落ち着いてスタートしたいという願いからである。案2として、会合についてだが、職員会議を月に2回行うという案が挙げられている。現状は月1回行っている。2回になると回数は増えるが、1回あたりの内容が少なくなり、結果的に会合の時間が短くなるということを考えている。案3として、金曜日の放課後に職員連絡を行うという案が挙げられている。現在は、月曜日の朝に職員朝会を行っているが、月曜日の朝は、週初めということもあり、担任がそれぞれの教室で子どもとともに1週間をスタートしたいという願いからである。

行事については、案1として、修学旅行、高原学習、スキー教室、スケート教室、遠足を隔年で行うという案が挙げられている。理由としては、児童数減少、行事の精選という観点からである。案2として、マラソン大会を止めるという案が挙げられている。理由としては、体調が整わない場合、参加が難しいためという観点からである。案3として、家庭訪問を5月に行うという案が挙げられている。理由としては、4月に保護者に来校いただく行事が多く、負担を分散したいという観点からである。案4として、交通安全教室は学校では歩行訓練を行い、自転車訓練は地区毎に行うという案が挙げられている。理由としては、自転車を学校まで持ってくる際の安全確保、学校では登下校時における安全指導を中心に行ったらどうかという観点からである。案5として、避難訓練を朝の活動を使って行うという案が挙げられている。年間3時間分行われているものを朝の時間でできないかという観点からである。案6として、春に運動会、秋に音楽会という、音楽会と運動会の時期を逆にするという案が挙げられている。6年生の合同音楽会が秋にあることや熱中症対策として運動会を春に行うという観点からである。

学校長：学校としたら、ふるさと学習において、何に疑問を持っているか、自分たちで課題を解決していくということを大切にしたい。行事については、どのような印象を持たれたのか教えていただきたい。

委 員：修学旅行を合同で行うという点について、5年生が米の販売で得た収益を修学旅行代に充てるために米作りを頑張っているということもある。同じ学年で行った方が、意気投合しやすい。今後、児童数が減ってきたら、合同ということもありだと思ふ。

委 員：遠足について、1年生にとっては初めての行事になり、その子がよくわかる行事になる。先生方にとって大変だと思うが、春の遠足は続けてほしい。

委 員：春に運動会だと1年生が大変という声も聞くが、学校としてはどうか。

学校長：6年生にとって、秋に音楽会だと合同音楽会と近いというよさがある。春の運動会でも暑い

時もある。また、1年生にとって集団行動は難しいという面もある。どちらにもメリット、デメリットがあるが、音楽会は室内で行う行事なので、換気のしやすい春の方がよいのではと、コロナになって感じる。

教 頭：それぞれ、メリット、デメリットがある。春運動会のメリットは気候的なものだが、表現種目については、例年と同じレベルのものを表現しようとする、前年度から取り組んでいく必要もあるかもしれない。

委 員：地域の運動会も、コロナの影響で進んでいないが、一緒にやりたいという声もあった。

学校長：交通安全教室の件だが、浦里小の児童は中学校では全員自転車通学になる。上手に乗れるようにしておきたいという思いもある。

委 員：地区毎となると、公民館行事になる。そうになると、全員参加は難しくなる。

委 員：家庭訪問は玄関先訪問なのか。

学校長：コロナの関係で、家の場所を確認する程度だった。

委 員：コロナ前は、担任が変わった学年と希望者のみだった。先生方のいいようにやっていただいでよい。

委 員：これらはまた検討するのか。

学校長：今後、教務会等で検討していく。

委 員：マラソン大会について、マラソンで輝ける子もいると思うので継続してほしい。

委 員：マラソン大会を止めるのではなく、距離を短くしたり、タイム計測形式にしたり、保護者に参加の有無を確認したりするなどの工夫をしたらどうか。

委 員：交通安全教室について、自転車に乗れない子はどうしているのか。

教 頭：コースを歩いたりしながら、ルール等を見て学ぶ学習をしている。

委 員：中学校では、交通安全教室はあるか。

委 員：点検程度はある。

委 員：交通安全教室について、ルール以外に何か教えてもらっているのか。

教 頭：主に技能面を学ぶが、警察の方も来るので、ルール以外の話をしてもらったこともある。秋の交通安全教室では、体育館内で模擬道路をつくり、車の内輪差等を学んでいる。春は主に技能面、秋は知識面を中心に学んでいる。

5 閉会の言葉

今回は第5回 2月14日(月) 開始時刻は午後5時45分